

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号1）

1 本時のねらい

・防災小説の構成メモを書くことを通して、実際に首都直下型地震が発生するときの状況を想像する力を養う。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<p>・3年間の防災教育のまとめとして防災小説を書くという学習の見通しをもつ。</p> <p>・防災小説の説明を聞く。</p> <p>自分が主人公、決められた日時で震災があった場合を想像し、800字～1200字で小説を書く。ラストは必ず希望を持って終わること。</p> <p>※担任から実際に書いてみた感想を伝える。</p>	
展開 40分	<p>首都直下型地震の被害想定を知る。</p> <p>・首都直下型地震の説明を見る。</p> <p>※動画(13分)</p> <p>・小説を書くために首都直下型地震の基礎知識を確認する。</p> <p>防災小説についてイメージをもつ。</p> <p>・実際に中学生が書いた文例を読む。</p> <p>防災小説の構成メモを書く。</p> <p>・ワークシートに記入する。</p>	<p>※この被害想定を嘘にするために防災教育があり、私たちが学んだことを防災小説によって発信することで地域の防災意識を高める事が目的である事を伝える。</p> <p>※決められた設定(日時、天気、M)発表する。</p>
終末 5分	<p>次回の学習の見通しをもつ。</p> <p>・次回は、構成メモをもとに小説を執筆することを理解する。</p>	

3 学年 防災教育「防災小説」ワークシート

防災小説とは

近未来のある時点で巨大地震が発生したという設定で、自分が主人公の物語を800字～1200字程度（原稿用紙2枚～3枚）で執筆する。最後は必ず希望をもって終わること。自分が書いた防災小説を他の人に読んでもらうことで、「もし地震が起きたら想定できること」を発信する。

設定

日時：7月平日 15:28 専門委員会 天気：晴れ、暑い 地震：首都直下型地震（M7.3）

構成メモ

地震が起きる瞬間、あなたは何をしています？	
地震を体感して、あなたはどのような気持ち？	
学校の様子は？	
町の様子は？	
家の様子はどうなっているだろう？	
家族は何をしているだろう？	
家族は何を考えているだろう？	
自分が助かるために、どうするのがよいだろう？	
周りを助けるためには、何ができるだろう？	

3 年 組 番 氏名

例：川越市立霞ヶ関西中学校3年生（2021年度）の「防災小説」

- 発災想定：2021年9月27日（月）16:00、気温31℃、晴れのち雨

「助け合いの心」

今日は九月二十七日、やっとコロナ対策の分散登校も終わり、ずっと会いたかった友達と楽しく話しながら下校しているその時、友達が言った。

「なんかゆれてない？」

そう言われてからは一瞬の出来事だった。

今までに体験したことのないほどのゆれが体を伝わり、私はとっさに地面にしゃがみ、身をかがめた。友達のさけび声、建物のくずれる音、物が落ちる音、いろいろな音が耳にとびこんできた。私はパニックで頭が真っ白になり、自然と涙がでてきてしまった。十秒ほど強いゆれが続き、一度おさまった。私と友達の周りにはさいわい高い建物はなく、お互い大きなけがをすることはなかった。そして顔を上げ町を見わたした。想像以上だった。普段見ている景色とは変わりはてた町の姿に、私は呆然とした。今まで地震の映像はニュースや学校の授業で見たことはあったけど、自分の町で実際におこると、こんなにもかなしい気持ちになるんだなと思った。そんなことを考えていると、

「早く避難しよ。」

と隣から聞こえた。その友達の声に、私ははっとした。そうだ、今はこんなことを考えている場合じゃないんだ。今まで防災訓練で学んだことを思い出し、私達はすぐに避難所の学校に向かうことにした。しかし、それは簡単なことではなかった。変わってしまった町を歩くのは、いつもの登下校の何倍も時間がかかった。道路が冠水している所もあった。

「そこ深いから気をつけてねー。」

前にいたおじさんがそう声をかけてくれた。

「あそこはくずれやすいからこっち通りな。」

近くにいたお姉さんがおしえてくれた。

色々な人に助けられてパニックだった心も少し落ち着き、無事に避難所に着くことができた。避難所に着き、想像以上の人の量に驚いた。だけどそれ以上に驚いた事があった。けが人を救うためにきた救急隊の方々、物資を運んできた市や県の人達、外国の方に対応する人、みんなに指示を出して避難所を運営する人、そこには同じ中学の友達もいた。避難してきたほとんどの人が自分にできることはないかを探して協力し合っていた。きっとみんな私のように突然の出来事で不安だし怖いのに助け合うその姿に私は感動した。私達もすぐに避難所の運営を手伝うことにした。

それから一週間、少しずつ町も復興が進み、家族とも連絡が取れて、避難所にもだんだんと笑顔が増えていった。もちろんこの地震で失ってしまったものもあった。だけど、そのこと以上にたくさんの小さな幸せがあった。避難しよと言ってくれた友達、避難所に行く時に助けてくれた町の人、避難所でみんなをまとめてくれた人、物資を運んでくれた人、私を助けてくれたその全員の一人でも欠けていたら、今の私はここにいなかったと思う。

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号2）

1 本時のねらい

・防災小説の下書きを書くことを通して、実際に首都直下型地震が発生するときの状況を想像する力を養う。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<p>学習の見通しをもつ。</p> <p>・3時間かけて防災小説を執筆することを理解する。（①下書き②本書き③校正）</p>	
展開 40分	<p>防災小説の下書きを執筆する。</p> <p>・Wordの原稿用紙に、防災小説を入力する。 ※字数制限、心情が描かれているか、地域の特性が描かれているかを考えながら書く。</p>	<p>・Wordの原稿用紙設定を行うと、次回以降の取り組みがやりやすい。</p>
終末 5分	<p>下書きを所定のフォルダに保存する。</p> <p>・タブレット内の共有フォルダにデータを提出する。</p> <p>次回の学習の見通しをもつ。</p> <p>・次回は、Wordで作成した下書きをもとに本書きすることを理解する。</p>	

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号3）

1 本時のねらい

・防災小説を執筆することを通して、実際に首都直下型地震が発生するときの状況を想像する力を養う。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<u>学習の見通しをもつ。</u> ・前時に作成した下書きを基に原稿用紙に手書きで本書きをすることを理解する。	
展開 40分	<u>防災小説の本書きを執筆する。</u> ・下書きを見ながら、原稿用紙に手書きで本書きを行う。	・Wordの原稿用紙を見て、誤字脱字、マス目の使い方を確認しながら取り組む。
終末 5分	<u>次回の学習の見通しをもつ。</u> ・次回は、本書きの続きや校正をすることを理解する。	

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号4）

1 本時のねらい

- ・防災小説の執筆を通して、実際に首都直下型地震が発生するときの状況を想像する力を養う。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<u>学習の見通しをもつ。</u> ・本時で防災小説を完成させるという学習目標を理解する。	
展開 40分	<u>防災小説の本書きを完成させる。</u> ・本書きが終わっていない場合は、続きを執筆する。 ・本書きが終了した場合は、自分で読み直し、誤字脱字やマス目の使い方、表現について校正を行う。	
終末 5分	<u>防災小説を用いて周囲の人へ「伝える」ことを理解する。</u> ・夏期休業中の課題として、家庭で読んでもらい、感想を書いてもらってくる。	

防災小説 保護者感想用紙

保護者の皆様へ

今年度、晴海中学校は「防災教育」をテーマに校内研究を行っています。大地震が起きたときに、自分の命を守ること（自助）はもちろん、周りの人を助けること（共助）ができるような判断力を養うことを目的として総合的な学習の時間に防災教育に取り組んでいます。

その中で、3年生は「防災小説」の執筆を行いました。近未来のある時点で巨大地震が発生したという設定で、自分が主人公の物語を800字～1200字程度（原稿用紙2枚～3枚）で執筆しました。自分が書いた防災小説を他の人に読んでもらうことで、「もし地震が起きたら想定できること」を保護者の方や地域の人に発信することを目的としています。優秀作品を執筆した生徒は、11月16日に行われる全国発表大会（オンライン）に学校代表として参加いたします。

ご多忙のところ恐縮ですが、お子様の執筆した防災小説をご一読頂き、感想の記入を宜しく申し上げます。本用紙を貼った清書を9月1日の始業式に提出してください。

感想をひとことお願いいたします。

保護者氏名

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号5）

1 本時のねらい

・防災小説をクラス内で読み合う活動を通して、首都直下型地震が起きる想定や状況についての考えを広げる。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<p>学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国防災小説オンライン交流会にむけて、クラス→学年の二段階で選抜することを理解する。 	
展開 40分	<p>防災小説を班ごとに読み合い、班代表を選出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班で、他の班の防災小説を読む。 ・個人で読ませ、回し読みしていく。 ・各班で特に良かった作品を一つ選ぶ。 <p>クラス代表を選出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれた6名は、前に出て自分の執筆した防災小説を朗読する。 ・特に良かった作品を書いた人とその理由を投票用紙に書く。 	<p>※心情が描かれているか、文章構成、引き込まれる表現があるか、地域の特性が表現されているか等を基準に考える。</p>
終末 5分	<p>次回の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで選出された10名の代表の中から、学年代表を決定することを理解する。 	

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号6）

1 本時のねらい

・クラス代表の防災小説の朗読を聞くことを通して、首都直下型地震が起きる想定や状況についての考えを広げる。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 5分	<u>学習の見通しをもつ。</u> ・全国防災小説オンライン交流会に出場する学校代表を1名選出すること、一人一人の投票によって決まることを理解する。	場所：体育館 準備するもの：演台、マイク、マイクスタンド
展開 40分	<u>クラス代表10名の防災小説を聞く。</u> ・クラス代表者は順番に一人ずつ自分の防災小説を朗読する。 ・聞いている生徒は、一人一人の良かったところをメモする。	
終末 5分	<u>学年代表を決める。</u> ・教室に戻って投票用紙に最も良い作品を書いた人の名前とその理由を書く。	※学校の代表としてふさわしいもの、震災時の自助・共助のシーンを想像できているか、地域性（町の様子）を伝えられているかを基準に投票する。

防災小説 投票用紙

1 一番心に残った防災小説を書いた人

◎「具体的に町や学校の様子・人々の様子が書いてあるか。」「気持ちが書かれているか」

2 その理由

3年	組	番	氏名
----	---	---	----

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号7）

1 本時のねらい

- ・全国各地の防災小説の発表を聞き、防災に関する考えを広げ深める。

2 本時の授業

時程	内容	備考
導入 15分	<p>各地の様子を紹介しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の気温や、名産、方言等を各校で紹介し合う。 ・他の地域に関心をもつ。 	<p>場所：体育館</p> <p>準備するもの：演台、マイク、マイクスタンド、プロジェクター、撮影用のタブレット</p>
展開 55分	<p>各校の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の地域性や学校での防災に対する取り組みを紹介する。 ・各校の代表による防災小説の朗読を聞く。 ・各校の防災小説に対する質疑応答、感想を伝える。 <p>大木先生からの講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災小説を書く意義、読み合う意義を理解する。 <p>書く→自分の地域で起きうる地震に対して考えを深める。知識を蓄える。外部に発信する役割がある。自分の住む地域を守るための大切な手段。</p> <p>読み合う→自分が考えていなかった別の視点で備えることができる。防災に対する考えが広がる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン（zoomを使用） <p>参加校：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市立音別中学校 ・川越市立霞ヶ関西中学校 ・中央区立晴海中学校 ・愛南町立御荘中学校 ・土佐清水市立清水中学校
終末 10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に戻って、全国防災小説オンライン交流会に参加して考えたことを書く。 	

（2時間続きで行いました。また、接続確認の時間や、休憩等も含まれましたが、活動内容のみ記載しています。）

総合的な学習の時間：防災教育（授業番号8）

1 本時のねらい

- ・防災小説の学習を通して学んだことをパワーポイントにまとめ、発表する。
- ・防災について他者の考え、感じ方を知ることによって理解を深める。

2 本時の授業

	○学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入 8分	○本時の説明 全国防災小説交流会の動画を流す（3分程度） 感想シートの配布	・整列、欠席が多いグループは人数調整を行う
展開 35分	○発表 ①各グループで自分のタブレットを使用し、パワーポイントの発表を行う。5人*3分 最大33グループ ー準備ー ②各クラスの代表1名が（合計5名）スクリーンを使って発表する。5人*3分	① ・15分のタイマーを設定する ・奇数はステージ側、偶数は月三側に集まる ② ・パワーポイントはリモートで操作
まとめ 7分	○振り返り 感想シートの記入 感想シートの回収	